

会栄綾

16

ニュース

令和3年12月1日発行

第58号

学校法人 香川栄養学園 募金担当
〒170-8481 東京都豊島区駒込3-24-3
tel.03-3918-3701

●坂戸キャンパス
女子栄養大学大学院
女子栄養大学（栄養学部）

●駒込キャンパス
女子栄養大学短期大学部
香川調理製菓専門学校

学園とともに卒業生の つながりと活躍を支える 香友会をめざして

香友会会長

磯田 厚子



今年六月より、第一六代香友会

会長を務めることになりました。

昭和一六年に創設された本会も、

今年で八〇周年を迎えました。そ

の節目の年に会長を拝命すること

になり、改めてその重みを感じて

いるところでは。

平成二七年から三期六年間にわ

たり務められました山下静江前会

長が築いてこられた、透明性の高

い活力のある香友会を引き継いで

いく所存です。

本会は、学園卒業生が各地に増えたところ、香川綾先生が卒業生の活躍を支えようとして設立されたものです。当初の会長は小竹絢子氏、副会長は調理学の大野富美江教授で、学園の現役の教職員でした。その意図は、本学園の「建学の精神」とおり、卒業生が「食を通して人々を健康にする」のを支援するためでした。一般的な同窓会としての性格も持ちつつ、むしろ卒業後の活躍を支え、生涯にわたる学びと社会的実践を学園と共に行うためであったと言えます。

この設立の理念は、今でも脈々と受け継がれています。第一〇代から一二代を務めた吉田企世子元会長は、支部活動に力点をおかれ、四七都道府県全てでの支部設立に尽力されました。韓国にも留学生を中心に同窓生の会が組織されました。支部主催の研修等の支援も大幅に増やし、各地での活動を支えています。

昨年来の新型コロナウイルス感染症は、多くの活動休止を余儀なくされましたが、オンラインという新しい手段を得て、今年からは総

会や各種会議の開催も出来るようになりました。全国展開している同窓生の会として、これを機に離れた地域とつながることが出来るメリットを生かして新しいタイプの活動を掘り起こしていきたいと考えています。

近年の会長は退職された方々が担ってこられました。私は定年退職したものの現在も副学長・教授として勤務を継続しております。学園の動向を常に把握し、また香友会の方針を学園にもご理解いただけるという、良い意味での連携関係を今まで以上に築いていくものと考えています。

昨年度は前会長のお声掛けで在学・在校生全員への支援金を学園を通してお届けすることが出来ました。香友会創立八〇周年の記念事業として『香窓』八一号に掲載したように、坂戸キャンパスへの桜の木の贈呈と記念誌発行、さらにSDGsをめぐる卒業生の取り組みを紹介するオンラインでの記念講演会を行います。

これからも綾栄会とともに学園を支え、また各地での卒業生を支えていきたいと考えております。

学園トピックス

桶川市(埼玉県)と包括連携に関する協定を締結

7月13日(火)、桶川市役所において、桶川市と本学の包括連携に関する協定締結式を行いました。

桶川市は、2020年11月に市制施行50周年を迎えました。江戸時代、農産物の集散地という地の利を得て、中山道の宿場町として栄えた歴史があります。現在、人口7万5千人、豊かな自然と住宅が調和する地域生活都市で、「べに花」をはじめ、米、野菜、果物といった農産物にも恵まれ、近隣自治体と比べて酪農業も盛んです。こうした新鮮で美味しい地域食材を生かした栄養バランスのよい食事の普及啓発、地域食材の魅力発見・発信に関する学生との協働による取組み、大学教員による研修会の開催など本学の専門性の高い教育力や実践力を生かした取組みを実施していきます。



神田女学園中学校高等学校と高大連携教育協定を締結

8月2日(月)、駒込キャンパス松栢軒において、神田女学園中学校高等学校と高大連携教育協定締結式を行いました。

神田女学園中学校高等学校は、1890年創設、130年の伝統ある学校でありながら、たゆまぬ革新とともにある「革



新的女子教育校」として、時代に合わせた教育を展開しています。

2021年からは、「ジブンのドラマ(人生)をデザイン(選択)する」というコンセプトのもと、新コース・クラスを設定し、新たな教育をスタートさせています。

本学の高度な教育力を活用し、多様な選択肢の中で自分らしく考え行動できる力を養うための取組みを、連携して進めていきます。連携の内容については、大学と高校での学びの交流、保健医療分野を目指す学生への模擬講義の実施のほか、日本の食文化を多言語で表現する栄養学のイメージジョン講義の実施に関しても高校からの提案があり、今後の取組みについて調整して実施していきます。

株式会社ヤオコーと産学連携包括協力に関する協定を締結

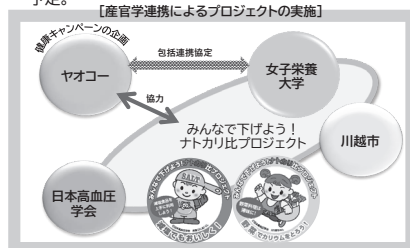
10月1日(金)、株式会社ヤオコーと本学は、産学連携包括協力に関する協定を締結しました。

株式会社ヤオコーは、明治23年(1890年)に創業、食料品を中心としたスーパーマーケット事業を展開しています。現在、本学坂戸キャンパスのある埼玉県を中心に千葉県、群馬県、茨城県、東京都、栃木県、神奈川県等の1都6県に175店舗あります。経営方針「豊かで楽しい食生活提案型スーパーマーケットの充実」のもと、「チャレンジ」、「おかげさま」、「健康」をキーワードとして掲げ、「健康」に関しては、全社員の健康的なライフスタイルをサポートし、さらにお客様にも事業を通して新しい「健康」という価値を提供していくと取組まれています。

10月30日(土)・31日(日)には、本学と日本高血圧学会、川越市の協働による高血圧予防に向けた食生活改善のプロジェクトに同社が協力し、店舗内での健康キャンペーン

産官学連携による健康食生活提案プロジェクトの実施

- 本取組は、高血圧予防に向けた食生活改善(食塩摂取量の減少、野菜摂取量の増加)を促進するため、『食行動の変容に向けた尿検査及び食環境整備に係る実証事業』^{※1}の一環として、日本高血圧学会、川越市、女子栄養大学の協働による「みんなで下げよう! ナトリウム^{※2}プロジェクト」として実施されるもの。
- このプロジェクトに、ヤオコーが協力し、プロジェクト実施店舗での健康キャンペーンを企画。キャンペーンは、お客様への食べ方の提案や商品の推奨について、わかりやすく、楽しみながら取り組める方法を検討、実施。
- このほか、社員参加による健康状態(尿中ナトリウム^{※2})のチェック。結果に基づく改善指導を実施予定。



※1 厚生労働省及び経済産業省が行う「予防・健康づくりに関する大規模実証事業」における5つのテーマのうち「栄養」に関する事業。具体的には、「食行動の変容に向けた尿検査及び食環境整備に係る実証事業」として、食塩含有量が多い外食や加工食品等を頻りに利用している働き世代を主な対象とし、「健康診断の機会における尿中塩分測定(ナトリウム/カリウムの比率等)と専門職による介入」及び「食環境整備」に関する事業を実施し、食生活の改善に向けた行動変容、特に食塩摂取状況の変化について検証するもの。

※2 ナトリウム(Na)/カリウム(K)の比率のこと。高血圧の原因となる食塩のとりすぎ、血圧低下をもたらす野菜や果物などに含まれるカリウムの十分な摂取に留意し、考察されたのが、「尿中ナトリウム/カリウム比」。ナトリウムとカリウムの摂取バランスを表す指標となり、この値が高いほど、食塩摂取量が少なく、野菜などに多く含まれているカリウム摂取量が多くなるが、逆に値が高いと、食塩のとりすぎやカリウムの不足の可能性がある。

この取組みを実施しました。また、11月6日〜23日の期間限定にて、ヤオコー全店で販売された埼玉150周年記念「地産地消弁当」に、本学食文化栄養学科4年生6名(衛藤久美准教授のゼミ生)が、彩りや栄養バランス等の面から助言しました。これは、同社が、埼玉150周年記念事業パートナーとして、埼玉県産の食材をふんだんに使用した食べ応え抜群の弁当を企画・開発したもので、販売促進用のポスターも学生が作成しました。

綾栄会事務局よりの「報告」

令和3年度「浅野嘉久賞奨学金」を授与

6月9日（水）、坂戸キャンパス会議室にて、女子栄養大学大学院入学生奨励「浅野嘉久賞」奨学金が浅野嘉久様より、奨学生4名に授与されました。

この「浅野嘉久賞」は、「野口医学研究所奨学金」として、奨学寄付金をいただいている米国財団法人野口医学研究所の名譽理事である浅野嘉久様個人より、奨学金としてご寄付いただき創設されたもので、今年で7回目の授与となります。学部成績が優秀かつ卒業研究に熱心に取組み、卒業研究指導教員の推薦もあり、さらに大学院入学試験に優秀な成績で合格した修士課程の入学生から栄養学専攻と保健学専攻の2名ずつ計4名を対象に、1名につき、1年次に30万円、2年次に30万円の計60万円が学納金に充当されるものです。



令和3年度「DNP奨学金」を授与

10月5日（火）、駒込キャンパス松柏軒にて、「DNP奨学金」が奨学生10名に、香川明夫学長より奨学証書が授与され、続いて、(株)DNPファシリテサービスク取締役常務執行役員の北山拓夫様より奨学金が授与されました。

この奨学金制度は、同社との連携協力に基づき設立されたもので、栄養学部・短期大学の最終学年に在籍する成績優秀者10名に奨学金（10万円）として給付されるもので、今年で9回目の授与となります。



皆さまからご支援頂きました「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急支援奨学募金」についてのご報告

コロナ禍の学生に「食の支援」

7月8日（木）、10月12日（火）・13日（水）、11月11日（木）・12日（金）、坂戸キャンパスにて、学生への「食の支援」として食料品等の配布を行いました。

これは、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、一人暮らしの学生等が、アルバイトができない状況の長期化などにより、生活費が減少し、食品の入手に支障をきたしていることや健康面、精神面も不調になりがちである学生に、経済的支援と健康維持を目的に緊急支援措置の一環として実施したものです。

いずれの回の食の支援においても、3000〜3600名の学生が食料品等を大切に持ち帰りました。

「7月8日 第1回 食の支援」

米、味噌、インスタント味噌汁、魚の缶詰の配布を行いました。この日の食料品は、「緊急支援奨学募金」の中から、45万円を購入費とし、充てさせていただきました。他、(株)東北食糧様、(株)極洋様、ひかり味噌(株)様から、ご提供頂いたものです。

「10月12日・13日 第2回 食の支援」

切り餅、乾麺うどん、味噌、魚の缶詰の配布を行いました。この日の食料品も、「緊急支援奨学募金」の中から、9万1千円を購入費とし、充てさせていただきました。他、城北麵工(株)様、埼玉県農業大学校様、(株)ベルク様から、ご提供頂いたものです。

「11月11日・12日 第3回食の支援」

スープはるさめ、米、充填豆腐、おからパウダー、衛生用品の配布を行いました。この日の食料品等も、「緊急支援奨学募金」の中から、45万8百円を購入費とし、

充てさせていただきました。他、さとの雪食品(株)様からご提供頂いたものと(株)東北食糧様、ひかり味噌(株)様、(株)栗原医療機器店様からご支援頂いたものです。

なお、駒込キャンパスにおいても、12月中旬に短期大学部と専門学校との学生・生徒に「食の支援」を実施する予定です。今後も状況を見ながら、学生・生徒への支援を継続してまいります。

令和3年度 香川栄養学園「家計急変給付奨学金」・「臨時奨学金」について

昨年度に創設しました本奨学金を通じて、今年度も経済的な支援が必要な学生・生徒の支援をしてまいります。

「家計急変給付奨学金」

本奨学金は、修学意欲、人物ともに優良でありながら主たる家計支持者の失業、倒産等により家計状況が急変し、修学困難になった学生・生徒に、今年度後期の学費から給付額相当の免除が受けられるものです（給付額…20万円）。7月中旬、申請者8名（大学5名・専門学校3名）について、後期学納金から20万円を減免いたしました。

「臨時奨学金」

本奨学金は、臨地・校外実習先及び教育実習先施設等から実習予定学生のアルバイト自粛の要望等に基づき、本学園が当該学生に対して実習開始前1ヶ月間、アルバイトの禁止または自粛の要請等を行うことにより、本来得られたであろうアルバイト収入の一部の補填を受けられるものです（給付額…一律2万円）。

第一次申請者（申請期限9月30日）86名（大学43名・短期大学部2名・専門学校41名）について、10月25日より、直接現金にて給付いたしました。第二次申請（申請期限11月15日）、第三次申請（申請期限…令和4年1月7日迄）につきましては、次号の綾栄会ニュースにてご報告させていただきます。

ご寄付者一覧

第58回報告

令和3年4月～9月末日お申し込み分

ご寄付をいただいた方々のご芳名を掲載しております
(五十音順、敬称は省略させていただきました)。
ご支援を賜りありがとうございます。御礼申し上げます。

- 2回以上ご寄付をいただいた個人・法人のご芳名も1回の掲載とさせていただきます。
- 住所・氏名など変更がありましたら、お手数ですが綾栄会事務局 (TEL03-3918-3701 E-mail:bokin@eiyo.ac.jp) までご連絡をお願いいたします。
また、綾栄会に関するご希望、ご意見も遠慮なくお寄せください。

個人

卒業生 篤志家 学園教職員

相原 晶子
青木 章子
浅野 嘉久
足立 望
安孫子 美鈴
井 ヒトエ
飯島 元子
池田 茂穂
石田 憲治
石原 雅義
石山 三貴男
一松 倫子
伊藤 雅子
稲葉 三起夫
井上 直子
井元 りえ
岩井 幸子
岩間 範子
岩本 智子
上原 美智子
内野 美保
大越 理恵
大崎 繁一
太田 力
太田 由恵
大谷 文子
大沼 久美子

大沼 由美子
大野 治信
小川 孝
小川 幸子
沖井 澄子
荻原 英子
奥嶋 研司
奥嶋 佐知子
奥堂 雅之
奥村 美穂
長田 斎
小澤 陽子
小野 仁子
皆田 健太郎
香川 明夫
香川 靖雄
葛城 裕美
金澤 久美子
金田 雅代
亀田 紘子
川内 唯之
川上 典子
河上 恭雄
川嶋 公子
川代 和史
川西 京也
川端 輝江
川原田 聡子
河村 とも子
菊池 信子

木下 峻介
木原 裕子
國吉 君子
久野 かほる
久保田 徳子
熊沢 孝仁
栗本 洋子
慶田 美佐子
計良 智子
小久保 和代
小松 孝正
五明 紀春
小森 明
坂上 範子
阪 泰彦
崎川 康子
佐々木 陽子
佐々木 浩二
佐藤 恵美
佐藤 智英
佐藤 由深子
志田 佐代子
柴田 圭子
柴宮 勝子
嶋田 さやか
須加 一昭
菅原 久美子
鈴木 優子
関根 伊佐子
関本 典子

染谷 忠彦
高城 孝助
高野 靖子
竹島 瑞穂
田島 初男
立野 恵美子
田中 さち子
田中 芳郎
田中 久子
田村 久子
多山 法子
辻村 由美
土屋 純一
角田 美恵子
坪井 和男
手島 康子
出羽 式子
東畑 朝子
富沢 美恵
富永 暁子
富野 博樹
中里 富美子
中津井 祐一
中村 君枝
中村 準
中屋 祐子
仁居舎 芳夫
西浦 希
西浦 歩
仁田 玲子

新田 遥香
蜷川 絢美
日本健康相談活動
学会 第17回学術
集会 道上恵美子
根岸 由紀子
野村 義行
箱山 良治
橋詰 廣道
橋本 幸治
長谷川 満
羽鳥 洋子
原 智子
原口 英男
人見 啓子
平林 宣子
深堀 聖子
吹春 秀典
福島 馨子
古川 瑞雄
古海 大輔
細野 幹人
牧 純子
松尾 節子
松尾 鉄城
松本 伸子
眞山 静子
丸藤 次男
箕輪 かよ
向井 邦江

村上 陽子
森原 直見
矢野 大介
山田 恵子
山本 妙子
山森 美里
吉岡 久
吉川 僚一
吉田 美智子
吉原 路子
脇田 慎司
渡部 修司
渡邊 容子

保護者 在校生

石川 雅博
大久保 貴予
鈴木 あつみ
仁居舎 幸枝
根木 淳成
松山 晶子
宮田 保彦

匿名 74名

法人

有限会社 RMステーション
株式会社 アイト
株式会社 イワセ・エスタ東京
公益財団法人 浦上食品・食文化振興財団
オーエリックス株式会社
大野消防設備株式会社
有限会社 大場電気管理事務所
香川県農業協同組合
株式会社 内田洋行

株式会社 クリーンサービス
株式会社 グローバルセンター
株式会社 鋤谷書店
株式会社 圏央電設
坂創設備工業株式会社
杉本刃物株式会社
株式会社 創源
有限会社 タイアップ・ユウ
第一生命保険株式会社

株式会社 ダンアート
ハウスウェルネスフーズ株式会社
株式会社 不二ビルサービス
米国財団法人 野口医学研究所
株式会社 ベルク
株式会社 ユース
株式会社 ライセンスアカデミー
株式会社 Y&M

香川栄養学園 教育・研究促進事業

《募金報告》

	個人		法人		合計	
	金額 (円)	件数	金額 (円)	件数	金額 (円)	件数
今回58号報告分 令和3年4月～9月	6,873,581円	245件	5,469,092円	29件	12,342,673円	274件
古本募金 令和3年4月～9月受付分	60,258円	37件 (1,348冊)				